

誰もが抱える悩みをパワーツと解決!



早稲田アカデミー
教育事業第二本部副本部長
福田 貴一

福田貴一先生の 福が来るアドバイス

受験とパワーツ

合格体験記

中学入試が終わると、多くの塾で合格体験記や合格者へのインタビューをまとめた冊子などが配られます。早稲田アカデミーでも4月上旬に完成する予定となっていますので、機会があればぜひご覧になってください。

私は、毎年11月に実施する小学6年生の保護者対象の「入試直前期保護者会」で、「ぜひもう一度、お子様と一緒に合格体験記をお読みください」とお話しさせていただいています。入試に向けた実践的な学習が本格的になる10月～11月。過去問演習が始まり、志望校の合格判定模試が行われ、入試日までのカウントダウンが始まり、出願手続きなども考え始めなければならぬとき……。お子様も保護者様も、「受験」

「受験生は受験前日まで伸びる」という言葉があります。この原稿を書いている1月、本当にその通りだと感じています。残された時間、悔いの残らないよう全力で取り組んで、第一志望校の入試に挑んでもらいたいと心から思います。この記事が皆様に届くころには、今年の中学入試もほぼ終わっています。受験生たちが笑顔で、次のステージへ期待を膨らませているよう、願っています。

というものがより現実的に感じられるようになる時期です。そしてこのころから、受験生の焦りや不安が大きくなってきます。

そんな時期だからこそ、合格を勝ち取った先輩たちの言葉が「頼り」になってきます。お子様にとっては「自分と同じように苦しかった人も、最後には合格を勝ち取ることができたんだ」ということが、大きな心の支えになるはず。

合格体験記は少しオーバー?

以前、中学入試を終えたお母様が、合格体験記について次のようにおっしゃっていました。「塾から配られる合格体験記冊子には毎年目を通していました。でも、そこに書かれている「志望校判定模試の結果はすつと悪かったのに、最後に大逆転合格」とか、「大スランプに落ち込

んでいたけれど、先生の一言で一気に立ち直れた」といったエピソードは、なんだかドラマみたいだなって、正直思っていました。合格した感動もあって、無意識のうちに少しオーバーに書いているのかも、なんて。でも、実際に体験してよくわかりました。うちの子の入試も、本当にドラマみたいだったんです。12月から合格までの2か月だけで、それこそ長編小説が書けそうなくらい……。もし後輩の受験生ママたちにアドバイスをさせていただくとしたら、「合格体験記はぜひ読んでください」とお伝えしたいです。勇気をもらえますし、壁にぶつかったときに乗り越えるためのヒントがきつと見つかると思います」

私自身も、毎年中学入試のさまざまな場面で泣き笑い、感動させていただいています。ただ、私に見えているのはお子様の塾での姿だけで

んどだと思えます。第一志望以外の志望校の選択に関しては、本人よりも親が考え、決めるケースが多いはず。その点において、親としても志望校に対する思いが強くなるのは当然のことでしょう。

また、中学入試はまだ成長の途中にある小学生が大きな目標に向けて進んでいくものです。小学校低学年から進学塾へ通うお子様も多いはずですから、さまざまな面で親が大きく関わり、支えていくこととなります。受験が終わったときには、実際に学習をしてきたお子様と同じように、ときにはそれ以上に、保護者様もまた入試に取り組んできた、とお感じになることでしょう。そう考えると、中学受験に向かって学習を進めてきた日々は、「親子のドラマ」そのもの、といえるのではないのでしょうか。

ドラマの「主人公」は受験生本人

とはいえ、ドラマの「主人公」は、やはりお子様です。

12歳から18歳までの自分の6年間を自分で決める——それが中学受験の持つ意味です。保護者様の支えがあり、我々講師もサポートさせてはいただきますが、最後の最後は一人で試験を受けることとなります。それは11・12歳のお子様にとって大きな試練であることは間違いありません。

合格発表のその日まで、さまざまな過程があり、そしてその結果を受け止める。そこには受

「親子の受験」という言葉の通り、中学受験では親が関わる部分がたくさんあります。例えば、受験校の選択などは親が主導で進めていくことが多いでしょう。最終的にはお子様と相談をして、学校を見に行つて、そこから決めていくことになると思いますが、スタートのタイミングでは親の考えをもとに検討し始めることがほと

中学受験は親子のドラマ

す。もちろん、合格にいたるまでの様々な過程をお子様、保護者様と共有させていただいていますが、実際にそれを体験している受験生本人、そして毎日の生活を共にされているご家族とは、受験にまつわるドラマの感じ方は違うものだと思います。成績の変化、志望校への思い、入試本番までの毎日の生活……。合格体験記には、合格発表までの全てが詰まっています。



福田 貴一 の
四つ葉café 公開中!

中学受験をお考えの小学3・4年生のお子様をお持ちの保護者様のためのブログです。

早稲田アカデミー
教育事業第二本部
副本部長
福田 貴一

著書に『中学受験 身につくチカラ・問われるチカラ』（新星出版社）。ブログでは、学習計画の立て方、やる気の引き出し方、テストの成績の見方、学校情報など、中学入試に関するさまざまなことについて書いています。

詳細はWebをご確認ください。

早稲田アカデミー 検索

左の二次元コードを
読み込んで
ご確認ください

スマートフォン対応